

単元名 強さや はやさを かんじて

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 曲想と強弱や速度、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けることができる。
- (2) 強弱や速度、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかに思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりすることができる。
- (3) 強弱や速度の変化や違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習に取り組もうとする。

標準的な展開例

02070102_001

【教材名】「天国と地ごく」から（鑑賞） かめ（鑑賞） 山のま王のきゅうでんにて（鑑賞） 小さなはたけ（歌唱） 山びこごっこ（歌唱） かくれんぼ（歌唱 共通教材）（P.6～P.13）

【準備等】範唱CD、鑑賞CD

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 体を動かしたり、面白いと感じたところを意見交流したりして「『天国と地ごく』から」「かめ」「山のま王のきゅうでんにて」を聴く。</p> <p>○「『天国と地ごく』から」を聴く。</p> <p>★強さや はやさを かんじて 体を うごかそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座って静かに聴き、気付いたことを交流する。 ・拍に合わせて手拍子や足踏みをする。 ・強弱を感じ取り、身振りで表す。 <p>○「かめ」を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由に体を動かしながら聴く。 ・「天国と地ごく」と比べて、曲想や速さなどで気付いたことを伝え合う。 ・拍や旋律に合わせて体を動かしながら聴く。 <p>○「山のま王のきゅうでんにて」を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座って静かに聴き、気付いたことを交流する。 ・速度に気を付け、拍に合わせて歩く。 ・強弱の変化にも気を付けながら、拍に合わせて歩く。 ・最後のポーズを考える。 <p>○「山のま王のきゅうでんにて」を、表している情景を思い浮かべて聴く。</p> <p>○「山のま王のきゅうでんにて」のよいところ、面白いところを見つけて聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よいところ、面白いところ、好きなところについて、伝え合う。 ・座って静かに曲を味わって聴く。 <p>3 身振りを付けながら「小さなはたけ」を歌う。</p> <p>○「小さなはたけ」の身振りを考える。</p> <p>★お花の ようすを 声や みぶりで あらわそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴き、旋律をつかむとともに、歌詞の変化に気付く。 ・1番の歌詞に合った身振りを考え、友達と交流する。 ・2・3番の身振りを考え、友達と交流する。 <p>○「小さなはたけ」を、強弱や歌い方（声の音色）を考えて歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞に合った強弱や歌い方を考える。 ・表情や身振りを変えながら歌う。 <p>○数人ずつ前に出て、歌と動きを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫のよいところや面白いところを伝え合う。 <p>4～6 呼びかけを楽しみながら「山びこごっこ」と「かくれんぼ」を歌う。</p> <p>○交互唱の既習曲を歌う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな感じがしたか、理由も合わせて出させる。 ・体の動きが苦手な児童には、拍に合わせた手拍子に導く。強弱を意識した手拍子の動きもよい。 <p>【共通事項】強弱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな様子を表している音楽かを考えさせ、その後に曲名を知らせる。 ・「天国と地ごく」と同じ旋律だが、感じが違うことに気付かせ、なぜ感じが違うかという意見を引き出すようにする。 ・曲名を知らせ、2回目の鑑賞をさせる。 <p>【共通事項】速度</p> <p>【評】強弱や速度の変化による曲想の変化を感じ取る活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耳を澄ませ、P（ピアノ）のときから拍に合わせて歩くように声を掛ける。 ・速く強くなってきたときに、声をあげてうるさくならないよう、最後まで集中して聴けるよう留意する。 ・速さを意識させながら歩かせるが、強さについても児童から気付きが出るようにする。 <p>【共通事項】変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな様子を表している音楽かを考えさせ、その後に曲名を知らせる。 ・ワークシートを活用してもよい。 ・主題の反復に気付いている児童を取り上げ、繰り返しの面白さを共有させる。 <p>【共通事項】反復</p> <p>【評】強弱や速度を聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取る活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3番とも同じ旋律であることに気付かせる。 ・「小さな」「ポッ」という歌詞に着目して、身振りを考えるようにさせる。 ・同じ旋律でも、強弱や歌い方を変えるとイメージが変わることに気付くようにし、歌詞に合った歌い方で歌えるように進めていく。 ・いろいろな表情や身振りを各自が試し、イメージに合った歌い方や身振りができるように声を掛ける。 <p>【共通事項】強弱 音色</p> <p>【評】強弱などの音楽の構造から曲想を感じ取り、表現する活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌うことの楽しさを味わえるよう、児童のお

<ul style="list-style-type: none"> ・1年生で歌った呼びかけっこの歌を歌う。 「もりのくまさん」「アイアイ」 「こぶたぬきつねこ」など ★よびかけっこのうたであそぼう ○山びこの意味を知り、山びこごっこで遊ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉で「ヤッホー」「お〜い」など ・旋律を付けて「ヤッホー」「ヨホホホー」など ○「山びこごっこ」を歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ○リズムのまねっこをする。 <ul style="list-style-type: none"> ○「山びこごっこ」を、声の感じや強弱を工夫して歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・斉唱する。 ・クラスで2つに分かれて歌う。 ○「山びこごっこ」の歌い方をグループで工夫し、発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ○呼びかけっこで遊ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・教師の呼びかけに、一人一人拍にのって返事をする。 ・二人組で呼びかけっこをする。 ○「かくれんぼ」を歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴き、曲の感じをつかむ。 ・付点のリズムに気付き、弾んで歌う。 ・「もういいかい」「まあだだよ」に分かれて呼びかけ合って歌う。 ○呼びかけ合う部分の歌い方を工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・実際にかくれんぼしながら。 ・「もういいかい」の部分はだんだん強く ・「まあだだよ」の部分はだんだん弱く ・「もういいよ」は、弱くゆっくりと など 	<p>気に入りの歌をどんどん歌わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山びこについて簡単に説明し、言葉で試したり、旋律を付けて試したりする。 ・呼びかけと山びこ、どちらの楽しさも体験できるように、教師→児童、児童→教師、児童→児童のように組み合わせを変えて歌わせる。 <p>【共通事項】呼びかけとこたえ</p> <p>【評】声を合わせて歌う活動を通して「技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4拍程度の打ちやすいリズムを教師が打ち、児童にまねっこさせる。 ・「同じ強さで打つ」や「違う強さで打つ」など、条件に合わせてまねさせる。 ・呼びかけ役と山びこ役を決め、互いの声をよく聴き合いながら歌い方の工夫ができるようにする。 <p>【共通事項】音色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強弱や速度に関する工夫ができるよう声を掛ける。 ・体を動かしながら歌うのもよい。 ・発表を見合った後は、工夫のよかったところや面白かったところを伝え合わせる。 <p>【評】歌詞や曲想に合った表現を工夫して歌う活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2音ぐらいのわらべうたの旋律で歌いながら呼びかけても楽しい。 ・教師が拍を打ち、拍にのって呼びかけっこをするように伝える。 ・歌に合わせて体を動かし、付点の弾むリズムを感じ取らせる。 ・実際のかくれんぼを想像し、離れて歌っていることをイメージさせる。 ・「もういいかい」は順番に一人ずつ歌わせ、「まあだだよ」「もういいよ」は声の強さを工夫し、残りの児童に歌わせる。 ・呼びかけあう部分では、速度や強弱を意識して歌うよう伝える。 <p>【共通事項】強弱</p> <p>【評】強弱や速度の変化や違いに興味をもち、表現する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>
---	---

【 備 考 】